

**第 14 回書道パフォーマンス甲子園における
新型コロナウイルス感染症防止に関する
基本方針**

令和3年6月22日

書道パフォーマンス甲子園実行委員会

内 容

1. はじめに	2
2. コロナ禍における大会運営について	2
3. 大会実施の可否等について検討する場合の条件について	2
第 14 回書道パフォーマンス甲子園開催に係る対応方針について	3
4. 全般的な事項	4
5. 参加受付時の留意事項	5
6. 大会参加者への対応（出場校の登録選手 15 名及び教員等）	5
7. 準備等すべき事項	6
7. 大会参加者の留意点	7
8. その他の留意事項	7
9. 感染者等が発生した場合の対応について	8
10. 感染者等が発生した場合の基本的な対応について	9
チェックリスト	11
大会開催・実施時の感染防止策チェックリスト【実行委員会】	11
参加者における感染防止策チェックリスト	14
健康チェックシート	15

1. はじめに

令和2年7月に予定していた第13回書道パフォーマンス甲子園は、新型コロナウイルス感染症の影響から中止を決定しました。高校生活の全てを書道パフォーマンスに傾けた選手の悔しさは計り知れず、胸中を察するに余りあります。しかしながら、本大会には全国各地から大勢の選手や観覧者が訪れ、第12回大会では延べ6,500人にも上る来場があるなど、多くの人が行き来するイベントとなっています。

そのため、大会を通じた感染拡大のリスクを高めることについては細心の注意を払う必要があります。選手をはじめ大会に関わる全ての人の安全・安心を確保することは、大会主催者としての責務であると考えています。

こうしたことから、令和3年7月25日（日）に予定している第14回大会について、安全・安心な大会運営ができるように、「令和3年度全国高等学校総合体育大会実施時における新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する基本指針（公益財団法人全国高等学校体育連盟）」等を参考に新型コロナウイルス感染症防止策を作成するものです。

この指針について、実行委員会が順守することはもちろんですが、出場校も同様に対応することが必要です。大会を成功させるために、互いに高い意識を持って努めましょう。

2. コロナ禍における大会運営について

- 選手や教員等をはじめ大会関係者全員の安全・安心の確保を最優先する。
- 3密（密閉空間、密集場所、密接場面）を回避する。
- 身体的距離を確保する。
- 手洗いを徹底する。
- マスクの着用を徹底する。ただし、演技中等はこの限りではない。
- 休憩時間を活用した定期的な窓の開閉による換気を徹底する。

3. 大会実施の可否等について検討する場合の条件について

新型コロナウイルスの影響等による大会実施の判断等については、「第14回書道パフォーマンス甲子園開催に係る対応方針について」（P3）のとおりとするものの、下記の条件に基づき、必要に応じて大会開催の可否や方法等について検討する。

- （1）緊急事態宣言が国内全域または愛媛県を対象に発令された場合
- （2）医療機関のひっ迫状況により、安全・安心な大会運営が困難な状況となった場合
- （3）出場校の辞退等の増加により、大会運営が明らかに困難となった場合
- （4）その他、大会開催にあたり通常の実施が困難と判断された場合

第14回書道パフォーマンス甲子園開催に係る対応方針について

第14回大会については、現在の新型コロナウイルスの感染状況から一般観覧は中止し、表1のとおり部員や保護者に限る。しかしながら、7月9日（金）の時点で愛媛県に緊急事態宣言が発令されている場合は、本戦を中止のうえDVD審査、もしくは選手のみ参加とする無観客開催を検討する。また、7月22日（木）の時点で当市を対象としてまん延防止等重点措置が適用されている場合は、保護者の入場を認めないこととする。加えて、出場校の所在地等が緊急事態宣言の対象地域となっている場合は、表2のとおり当該学校の保護者の観覧を認めないこととする。また、学校等の判断により選手の参加が困難とする場合は、オンラインでの参加や会場で演技動画を上映するDVD参加について特別に認めることとする。なお、開催方針等についての基準は目安であり、状況が好転したり、悪化したりすると判断できる場合はこの限りではない。

7月10日以降に、書道部員に体調不良者が発生した場合や、学校や家庭内で感染者・濃厚接触者が確認された場合は、必ず実行委員会に報告する。大会への参加については各学校の基準と照らして実行委員会と協議し、当該校の責任で判断する（P9、P10参照）。

【表1】

書道パフォーマンス甲子園の開催方針等 四国中央市が対象地域となった場合					
	開催方針	入場者			
		選手15名 教員等	部員	保護者	一般
緊急事態宣言 (7/9時点)	本戦を中止し DVD審査 もしくは 無観客開催	▲	×	×	×
まん延防止等 重点措置 (7/22時点)	無観客開催	○	○	×	×
上記以外 (7/22時点)	入場制限	○	○	○	×

【表2】

学校等の参加・観覧要件 学校が立地する市町村が対象地域となった場合				学校等において参加を 困難と判断 した時
	選手 15名 教員等	部員	保護者	
緊急事態宣言 (7/22時点)	○	△ ※	×	DVD もしくは オンライン 参加
まん延防止等 重点措置 (7/22時点)	○	○	△ ※	
上記以外 (7/22時点)	○	○	○	

※各学校の基準に照らし、当該学校の責任で判断する。

4. 全般的な事項

- (1) 新型コロナウイルスの対策を講じるスタッフの専任班を編成し、各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認する。応援等の来場者で、スタッフの指示に従わない場合は、参加校の責任において対応する。
- (2) 感染防止のため実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを受付等の適切な場所に掲示する。
- (3) 出場校の登録選手及び教員等（以下「大会参加者」という。）、その他の部員は、健康チェックシート（様式1）を7月10日（土）から大会当日までチェックする。教員は生徒の健康チェックシート（様式1）を確認のうえ、印を入れる。健康チェックシート（様式1）は、健康チェックシート提出用紙（様式2）を添えて、7月24日（土）のリハーサル受付時に実行委員会の確認を受けるとともに、大会当日に提出する。提出された健康チェックシートは、1か月以上実行委員会で保管する。
- (4) 学校を通じて観覧の申し込みを行った保護者は、健康チェックシート（様式1）を7月10日（土）から7月25日（日）までチェックし、大会当日、個々に提出する。提出された健康チェックシートは、1か月以上実行委員会で保管する。
- (5) 大会スタッフは、健康チェックシート（様式1）を7月10日（土）から大会当日までチェックし、該当項目がある場合には実行委員会に申し出た上で、当日の参加について判断する。健康チェックシートは、1か月以上各自で保管する。
- (6) 高校生企画員などの運営ボランティアは、健康チェックシート（様式1）を7月10日（土）から大会当日までチェックし、大会当日に受付に提出する。なお、7月24日（土）のリハーサルに参加する者は、リハーサル受付時に健康チェックシート（様式1）の確認を受ける。
- (7) 報道関係者等は、健康チェックシート（様式1）を7月10日（土）から大会当日までチェックし、大会当日に受付に提出する。なお、7月24日（土）のリハーサル取材する者は、リハーサル受付時に健康チェックシート（様式1）の確認を受ける。健康チェックシートは、1か月以上実行委員会で保管する。
- (8) ブースの出店者等は、健康チェックシート（様式1）を7月10日（土）から7月25日（日）までチェックし、大会当日に受付に提出する。健康チェックシートは、1か月以上実行委員会で保管する。健康チェックシートは、1か月以上実行委員会で保管する。
- (9) 大会に関わる全ての参加者は、大会期間中及び大会参加前2週間以内、並びに大会終了後2週間の期間において、感染者または濃厚接触者と診断された場合は、実行委員会に対しその事実について速やかに報告し、医療機関等の指示に従う。なお、感染者等が発生した場合の対応の詳細については「感染者等が発生した場合の対応について」に従う。
- (10) 大会に関わる全ての参加者は、医療機関や隔離施設、宿泊施設、自宅までの移動や輸送について、各自の責任で行う。
- (11) 大会に関わる全ての参加者は、大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、実行委員会に対して速やかに報告する。

5. 参加受付時の留意事項

受付時に大会参加者が密にならないように、下記に配慮して事務を行う。

- (1) 会場への入口は、大会参加者が1階、保護者等の観覧者が2階とする。
- (2) 大会参加者の受付が混雑する場合、他の学校を屋外で待機させるなど3密を防ぐ。
- (3) 受付には手指消毒剤を設置するとともに、スタッフはマスクを着用する。
- (4) 人と人が対面する場所には、アクリル板もしくは透明ビニールカーテンなどを用いて遮蔽する。
- (5) 発熱が軽度の場合のほか、せきや咽頭痛などの症状がある人は入場を控えてもらうように貼り紙などにより注意を促す。
- (6) 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）等の活用を呼び掛けるQRコード等を表示した貼り紙を行う。

6. 大会参加者への対応（出場校の登録選手15名及び教員等）

(1) 体調の確認

大会参加者等は、健康チェックシート（様式1）を7月10日（土）から毎日チェックする。選手や教員等については、健康チェックシート（様式1）と健康チェックシート提出用紙（様式2）の2枚を7月24日（土）と25日（日）の両日提出する。

7月24日（土）については、健康チェックシート（様式1）及び健康チェックシート提出用紙（様式2）を受付で確認した後に、健康チェックシート（様式1）は各校へ返還する。大会当日に健康チェックシート（様式1）は再度提出する。提出に関しては、個人情報の取扱いに十分注意し、引率責任者（教諭等）が提出する。

- ① 大会当日の体温
- ② 大会前2週間における以下の事項の有無
 - (ア) 平熱を超える発熱
 - (イ) 咳、喉の痛みなど風邪の症状
 - (ウ) だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - (エ) 嗅覚や味覚の異常
 - (オ) 体が重く感じる、疲れやすい等
 - (カ) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触
 - (キ) 同居家族や身近な知人で感染が疑われる方
 - (ク) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触

※出場校は当日の参加について、大会2週間前のチェック状況と当日のチェック状況から適切に判断して決めること。

(2) マスク等の着用

引率責任者（教員等）は、大会参加者がマスクを準備しているか確認すると同時に、常時着用することを指導する。なお、演技中はマスクの着用はしなくてもよい（※）とするものの、参加の受付、着替え、観覧、表彰式等の演技を行っていない間、特に会話する時には、マスクを必ず着用する。

※マスクを着用して演技を行った場合、十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があるため、その着用については学校の判断とする。

(3) 大会参加前後の留意事項

大会参加者は、大会前後のミーティング等においても、3密を避け、会話する時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮する。

7. 準備等すべき事項

(1) 手洗い、トイレ

トイレについては、感染リスクが比較的高いと考えられることから、下記の対応を行う。

- ① トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、可能な限り消毒する。
- ② トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。
- ③ 手洗い場には石鹼及びアルコール等の手指消毒剤を用意する。
- ④ 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をすること。
- ⑤ 手洗い後に手を拭くため、参加者にマイタオルを持参させる。

(2) 更衣室、控室、待機スペース

これらのスペースは密になりやすいと考えられることから、換気用の小窓を開けるなど換気に配慮するとともに、複数の参加者が触れると考えられる場所については、可能な限り消毒する。特に、更衣室においては、学校が入れ替わる際などは、消毒と換気を徹底する。

(3) 飲食等について

参加者が飲食等をする際は、以下に配慮する。

- ① 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛ける。
- ② 参加者が食事する際は、向き合わず、会話しないこととする。
- ③ 飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップを使用し、共用はしない。
- ④ 飲食物を取り扱う者等にはマスクを着用させる。

(4) 観客の管理

会場に観客を入れる場合には、以下に配慮し周知する。

- ① 非接触型体温計等を使用して検温し、37.5℃以上の場合は入場を断る。
- ② 観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らす対応をとる。
- ③ 声援は禁止とし、拍手のみとする。また会話を控え、会話をする場合にはマスクを着用する。
- ④ 飲食の際には適切な間隔を確保し、向き合わない。また会話を控え、会話をする場合にはマスクを着用する。

(5) 大会会場

換気の悪い密閉空間とならないよう、定期的に窓を開け外気を取り入れる等の十分な換気を行う。

(6) ゴミの管理

参加者にゴミを持ち帰ることを義務付けるとともに、その内容を周知する。

7. 大会参加者の留意点

大会参加者に対し、以下の留意点や遵守すべき内容を周知・徹底する。

(1) 十分な距離の確保

感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（感染予防の観点からは、できるだけ2mを目安に（最低1m））を空ける。演技終了後は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空ける必要がある。

(2) その他

- ① 唾や痰をはくことは行わない。
- ② タオルの共用はしない。
- ③ 飲食については、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにする。
- ④ 飲みきれなかった飲料等を指定場所以外に捨てない。

8. その他の留意事項

- (1) 宿泊に関しては、宿泊施設関連の業界団体が定める最新の「宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン」に従うこと。
- (2) バス輸送に関しては、「貸し切りバスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン」に従うこと。

9. 感染者等が発生した場合の対応について

(1) 感染者等が発生した場合の対応に関する考え方

本基本方針はコロナ禍における書道パフォーマンス甲子園をより安全・安心な大会として実施するために、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止することを目的としている。その上で、万一感染者等が発生した場合においては発生の時期や場所等の条件の違いによらず、全て医療機関への相談・受診が前提となる。その診断等の結果、必要に応じて保健・衛生機関の指示等に従うこととなる。

本基本方針では感染者等が発生した場合の対応について、幾つかの発生事案を想定し、それらに対する基本的な対応方法等について示すこととする。

なお、感染者等の発生による大会への参加等の可否判断については、医療機関等の指示を遵守した上で出場校の責任において行うことを原則とする。

(2) 感染者、濃厚接触者等の定義

① 感染者

医療機関による診断の結果、感染者と判定された者。なお、感染者の発生日とは症状が出始めた日とし、発症日が不明な場合は陽性と判定された検体採取日とする。

② 濃厚接触者

濃厚接触者は所轄保健所の判断による。なお、濃厚接触者の発生日とは感染者と接触した日とする（接触した日が複数ある場合は、大会に最も近い日とする）。

【参考】厚生労働省が示す濃厚接触者の定義（一部抜粋）

感染者と手指消毒など行うことなく触れ合った、もしくは対面で手を伸ばしあつたら届くくらいの距離（1m程度）に15分以上いた。

③ 体調不良者

発熱（37.5℃以上）や風邪症状（咳、のどの痛み）、だるさや息苦しさ、味覚や嗅覚の異常など健康チェックシートのチェック項目のアからオに該当する者。

(3) その他

① 大会出場辞退等の判断は出場校の責任において行うことを原則とする。

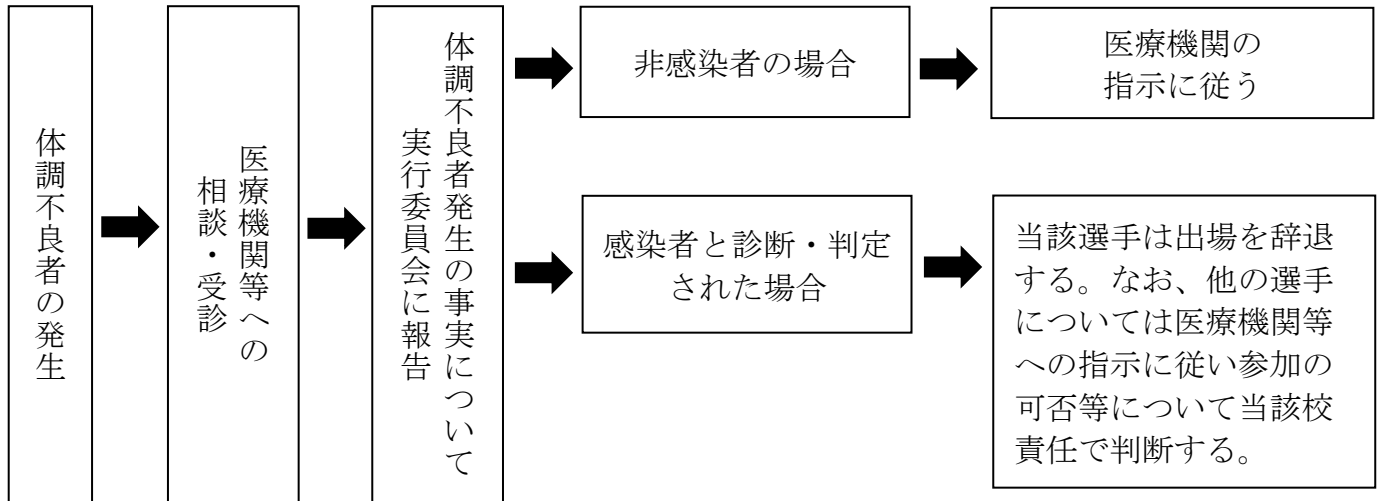
② スタッフへの対応については「9.（1）感染者等が発生した場合の基本的な対応について」に準じて対応する。

(4) 各出場校にコロナ対応担当者を設置する（監督・引率教員の兼務を可とする）。

10. 感染者等が発生した場合の基本的な対応について

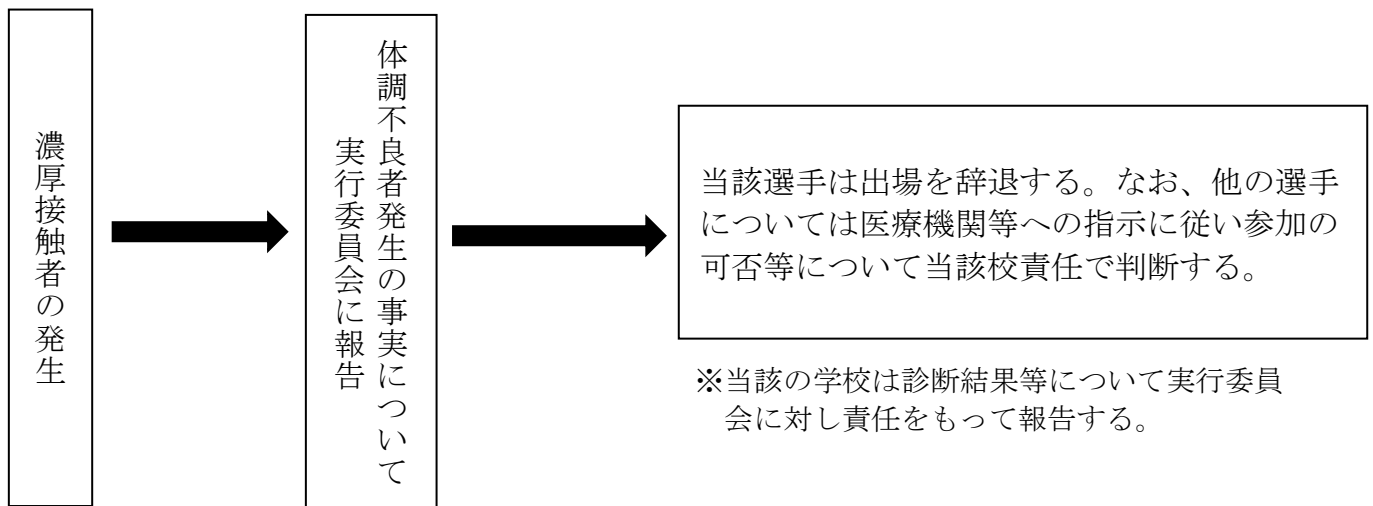
(1) 大会開始前2週間の間に体調不良者及び濃厚接触者が発生した場合

① 体調不良者が発生した場合



※当該の学校は診断結果等について実行委員会に対し責任をもって報告する。

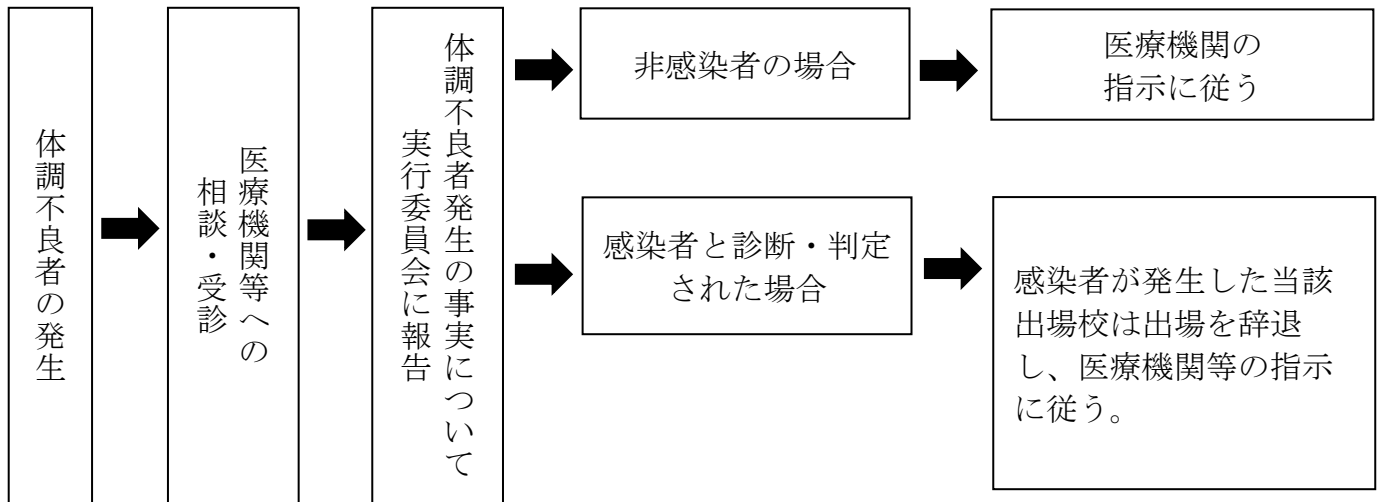
② 濃厚接触者が発生した場合



※当該の学校は診断結果等について実行委員会に対し責任をもって報告する。

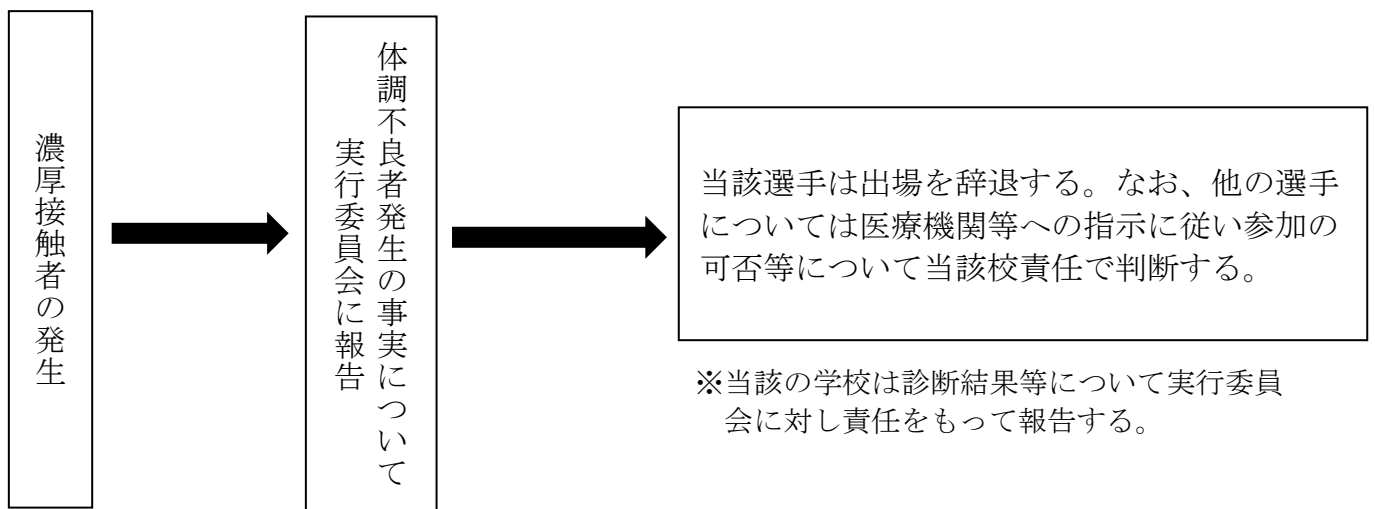
(2) 7月24日(土)～25日(日)に体調不良者及び濃厚接触者が発生した場合

①体調不良者が発生した場合



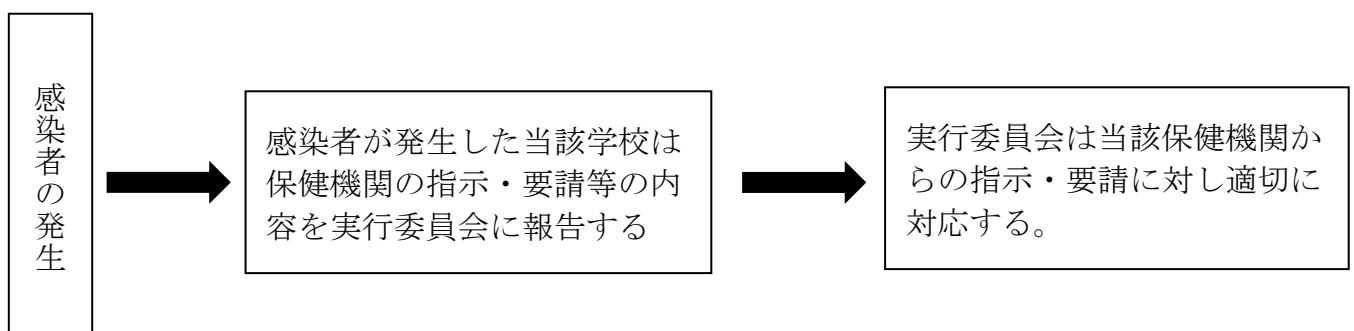
※当該の学校は診断結果等について
実行委員会に対し責任をもって報告する。

②濃厚接触者が発生した場合



※当該の学校は診断結果等について実行委員
会に対し責任をもって報告する。

(3) 大会終了後(2週間)に感染者が発生した場合



チェックリスト

大会開催・実施時の感染防止策チェックリスト【実行委員会】

全般的な事項

- 実行委員会は、感染防止のため実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（大会の受付場所等）に掲示すること
- 実行委員会は各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること
- 出場校の登録選手 15 名及び教員等（以下「大会参加者」という。）、その他の部員は、健康チェックシート（様式 1）を 7 月 10 日（土）から大会当日までチェックする。健康チェックシート（様式 1）は、健康チェックシート提出用紙（様式 2）を添えて、7 月 24 日（土）のリハーサル受付時に実行委員会の確認を受けるとともに、大会当日に提出する。提出された健康チェックシートは、1 か月以上実行委員会で保管すること
- 学校を通じて観覧の申し込みを行った保護者は、健康チェックシート（様式 1）を 7 月 10 日（土）から 7 月 25 日（日）までチェックし、大会当日に個々に提出する。提出された健康チェックシートは、1 か月以上実行委員会で保管すること
- 大会スタッフは、健康チェックシート（様式 1）を 7 月 10 日（土）から大会当日までチェックし、8 月末日まで各自保管し、該当項目がある場合には実行委員会に申し出た上で、当日の参加について判断する。健康チェックシートは、1 か月以上各自で保管すること
- 高校生企画員などの運営ボランティアは、健康チェックシート（様式 1）を 7 月 10 日（土）から大会当日までチェックし、大会当日に受付に提出する。なお、7 月 24 日（土）のリハーサルに参加する者は、リハーサル受付時に健康チェックシート（様式 1）の確認を受ける。提出された健康チェックシートは、1 か月以上実行委員会で保管すること
- 報道関係者等は、健康チェックシート（様式 1）を 7 月 10 日（土）から大会当日までチェックし、大会当日に受付に提出する。なお、7 月 24 日（土）のリハーサル取材する者は、リハーサル受付時に健康チェックシート（様式 1）の確認を受ける。提出された健康チェックシートは、1 か月以上実行委員会で保管すること
- ブースの出店者等は、健康チェックシート（様式 1）を 7 月 10 日（土）から 7 月 25 日（日）までチェックし、大会当日に受付に提出する。提出された健康チェックシートは、1 か月以上実行委員会で保管すること
- 参加者に陽性者が確認された場合には、保健所や医療機関の指示に従うこと
- 参加者は、大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、実行委員会に対して速やかに報告する。実行委員会は報告があった場合には、関係機関の求めに応じて対応すること

大会参加者への対応

- 大会参加者等から以下の事項を記載したチェックシート(様式 1)を取りまとめた提出用紙(様式 2)を学校ごとに提出をさせること
 - 大会当日の体温
 - 大会前 2 週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱
 - 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状
 - だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - 嗅覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触
 - 同居家族や身近な知人で感染が疑われる方
 - 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触
- マスク等の準備
 - 大会参加者がマスクを準備しているか確認すると同時に、着用について指導すること
 - 参加の受付、着替え、表彰式等の演技を行っていない間については、マスクを着用すること(演技中のマスクの着用は出場校の判断によるものとする)
- 大会参加前後の留意事項
 - 大会の前後のミーティング等においても、マスクを着用し 3 密を避けること
 - 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること

当日の参加受付時の対応

- 受付には、手指消毒剤を設置すること
- 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと
- 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること
- 人と人が対面する場所には、アクリル板もしくは透明ビニールカーテンなどを用いて遮蔽すること
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように、貼り紙などにより注意を促すこと
- 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)等の活用を呼び掛ける貼り紙を行うこと

実行委員会が準備すべき事項の対応

◆手洗い場所

- 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- 手洗い後に手を拭くため、参加者にマイタオルを持参させること
- 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
- 更衣室、休憩・待機スペースの広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること
- ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
- 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、可能な限り消毒すること
- 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること

◆洗面所(トイレ)

- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、可能な限り消毒すること
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
- 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- 手洗い後に手を拭くため、参加者にマイタオルを持参させること

◆飲食等について

- 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること
- 飲料についてはペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップを使用し、共用はしないこと
- 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること

◆観客の管理

- 非接触型体温計等を使用して検温し、37.5℃以上の場合は入場を断ること
- 観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らす対応をとること
- 大声での声援を送らないことや会話を控えること
- 会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知すること

◆大会会場

- 換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
- 換気設備を適切に運転すること
- 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと

◆ゴミの管理

- 参加者にゴミを持ち帰ることを義務付けるとともに、その内容を周知すること

参加者における感染防止策チェックリスト

参加者が遵守すべき事項

- マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等の演技を行っていない際や会話する時にはマスクを着用すること）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者、主催者スタッフ等との身体的距離（できるだけ2 mを目安に（最低1 m））を確保すること
- 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、実行委員会に対して速やかに報告すること
- 大会の前後のミーティング等においても、マスクを着用し3密を避けること

参加者の留意点

- 十分な距離の確保
- 感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※）を空けること
（※）感染予防の観点からは、できるだけ2 mを目安に（最低1 m）距離を空けることが適当である
- 演技終了後は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること
- 競技中に、唾や痰をはくことは行わないこと
- タオルの共用はしないこと
- 飲食については、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること
- 飲みきれなかった飲料等を指定場所以外に捨てないこと

健康チェックシート

学校名 会社名等		氏名	
住所		電話番号	

【チェック項目】

- ア. 平熱を超える発熱 イ. 咳、喉の痛みなど風邪の症状 ウ. だるさ、息苦しさ
エ. 味覚や嗅覚の異常 オ. 体が重く感じる、疲れやすい
カ. 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触
キ. 同居家族や身近な知人で感染が疑われる方
ク. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触

No.	日にち	曜日	体温	上記ア～クの各項目に該当しなければ✓を入れる							教諭 チェック	
				ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ		ク
1	7月10日	土	℃									
2	7月11日	日	℃									
3	7月12日	月	℃									
4	7月13日	火	℃									
5	7月14日	水	℃									
6	7月15日	木	℃									
7	7月16日	金	℃									
8	7月17日	土	℃									
9	7月18日	日	℃									
10	7月19日	月	℃									
11	7月20日	火	℃									
12	7月21日	水	℃									
13	7月22日	木	℃									
14	7月23日	金	℃									
15	7月24日	土	℃									
16	7月25日	日	℃									

上記のとおり間違いありません。

本人署名

健康チェックシート提出用紙

学 校 名	
提出者氏名	

※提出者は引率責任者である教諭等が行うこと

**7月10日（土）から本日の健康チェックシートの
チェック状況までを判断して出場を自粛する者が
（下記のいずれかに○印）**

いる ・ いない

※「いる」場合には、自粛する人数と状況等を確認します。
※大会前日及び大会当日、実行委員会に提出してください。